

令和7年度 法学部社会人入学試験（10月）

Ⅰ 時限目 小論文

試験問題

【問】以下の新聞記事を読んで、「特定生殖補助医療法案」の問題点について要約し、問題点に対するあなたの見解を述べなさい。

※著作権処理が済んでおりませんので、  
非公開とします。

※著作権処理が済んでおりませんので、  
非公開とします。

(読売新聞 2025 年 7 月 17 日東京朝刊 11 頁)

令和7年度法学部社会人入学試験（10月）「小論文」解答例

文章の内容を正確に読み解き、設問について自分の意見を論理的に表現することができるかが問われています。

評価の観点として、①記事の内容を正確に理解しているか、②文章の重要なポイント、例えば、子どもの出自を知る権利や同性カップルや事実婚カップルの利用が認められないといった問題点を簡潔にまとめているか、③問題点について、文章の内容を踏まえたうえで自分の意見を論理的にまとめているか、を中心に審査しました。

## 令和7年度法学部社会人入試（10月）「小論文」出題の意図

法学部のアドミッションポリシーに基づき、入学後に法学部で学ぶために必要な能力、すなわち、事実や他者の考えを正確に理解し、それに対して自身の考えを論理的に表現するために必要な基礎的な学力や読解力等を備えているかどうかを審査することを意図して出題しました。

## 合否判定の方法および基準（令和7年度法学部社会人入学試験（10月））

### 1. 合否判定の方法

小論文（100点満点）、

口頭試問〔専門科目に関する口頭試問を含む〕（A、B、C、D評価）

### 2. 合否判定の基準

小論文 60点以上、

かつ口頭試問〔専門科目に関する口頭試問を含む〕 C評価以上